

STEPの使い方 (2_2)

2 各機能の紹介 (続1)

(2) 調べる

1) 辞書機能

a クイックレキシコン (簡易辞書機能)

翻訳聖書において、単語の上にポインタを合わせると、対応する原語と原語の持つ意味、さらに同一箇所と同じ語が別の訳をされている場合は、それも表示されます。図2_2_1では1章4節の“saw”がヘブル語の *ra.ah* から訳されたものであることと、“appear”とも訳されていることが分かります。

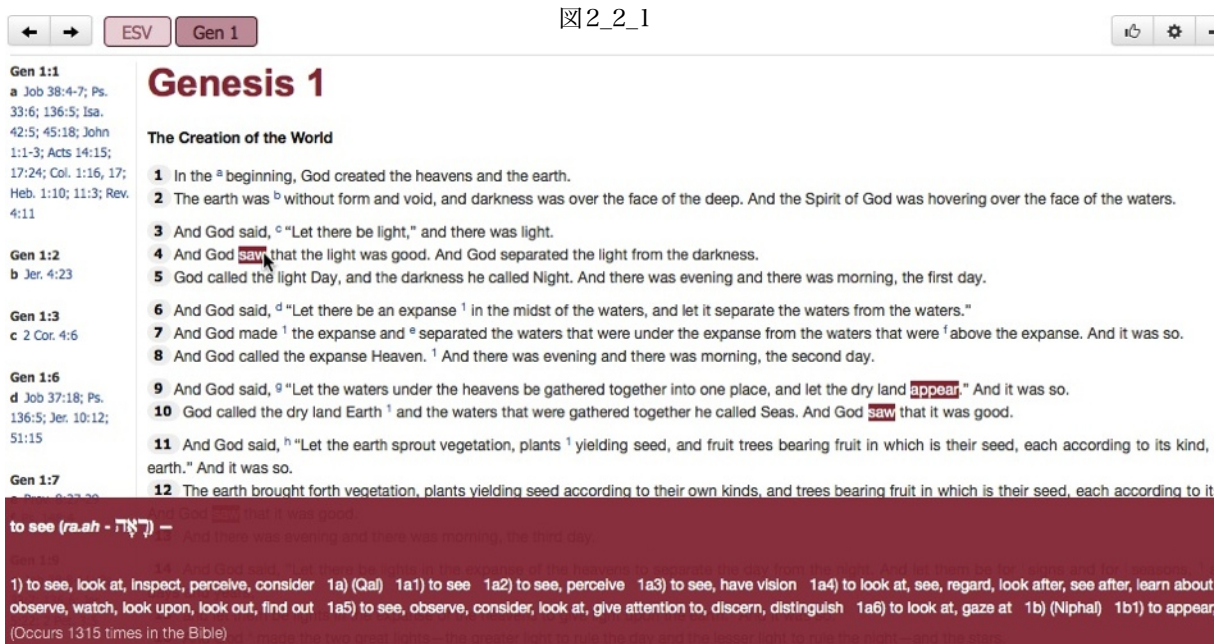
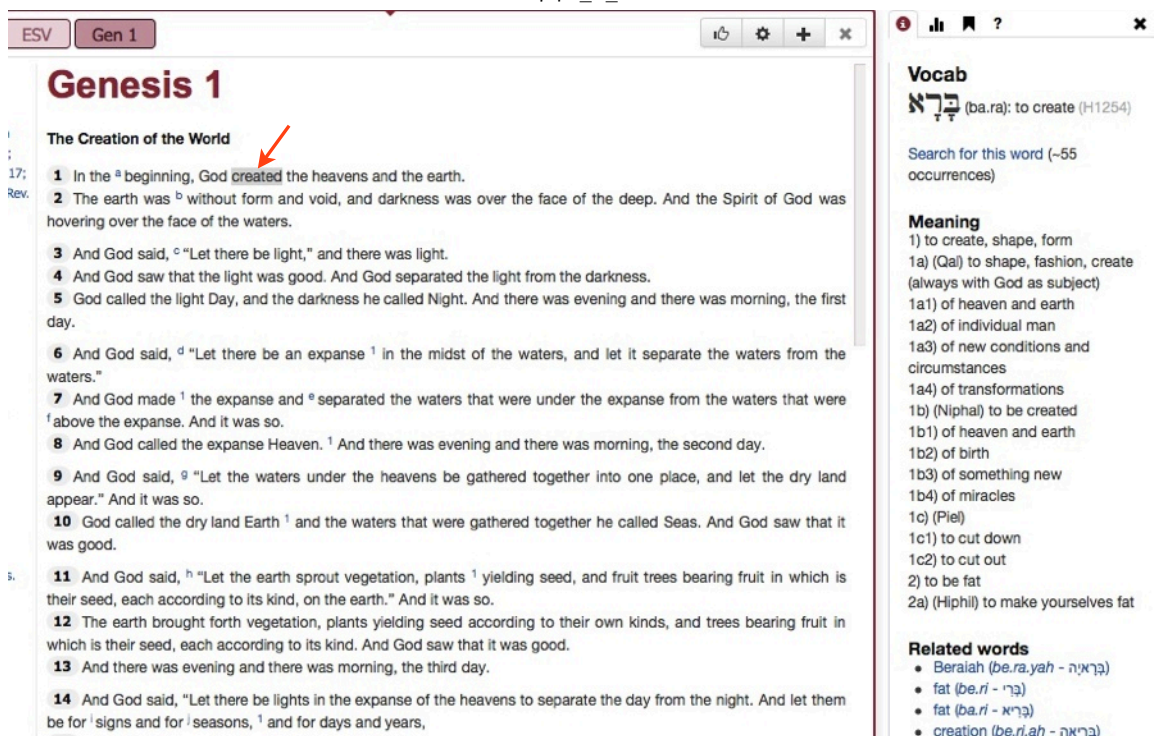


図2_2_1

b サイドバーに表示させる

調べたい単語を選択しクリックすると、その語について聖書で使われているすべての語義をサイドバーに表示できます。図2_2_2の例では1章1節のcreated (赤矢印) をクリックして調べています。また、その語に関連する語 (Related words) がサイドバーの下部に表示されます。さらに、関連する語をクリックすると、その語の意味がサイドバーに表示されます。

図2_2_2



c 聖書外で使われている場合の意味を調べる

調べたい語に聖書外の用例がある場合、サイドバー下部 (図2_2_3赤矢印) には、聖書外で使われている場合の語義が表示されます。

図2_2_3

d 一つの節で使われている原語を調べる

節番号にカーソルを合わせると語彙ウィンドウがポップアップし、その節で使われている原語の単語が表示されます。そこから、そこで表示されている語が使われている箇所を参照することができます。この機能は、すべての翻訳タグ付けされているか否かを問わず一で使えます。

図2_2_4にあるように、節番号にカーソルを合わせ (赤矢印1)、調べたい語 (赤矢印2) をクリックするとサイドバーに意味が表示され、調べたい語の右側にある赤矢印3で示された数字をクリックすると、その語が使われている箇所が右側の新しいパネルに“Related words”として表示されます。

図2_2_4

e ワードクラウド

一定の箇所を素早く概観するのに便利な機能です。サイドバーで設定します。サイドバーが表示されていなければ、図2_2_5の赤矢印1をクリックするとウィンドウ右側に表示されます。赤矢印2で“1 chapter either side”を選ぶと、その箇所で作られている語が、多ければ大きく、少なければ小さく表示され、そのことである程度のコンテキストが分かります。また、その書全体でテーマが展開していくのを見るためのボタンもあります。（

なお、ワードクラウドには以下の3つのタイプがあります：「ボキャブラリー（原語ベース）」、「現代語訳（英語／その他の現代語）」、「主題（Nave's topical Bibleベース）」です。赤矢印4の箇所を選べます。

図2_2_5

